

教育資材まとめ

	施設名	介入に加わった職種	介入方法	介入の内容	介入の時間	教育資材の有無 (*は資材提供あり)	専門資格の有無 (療養士の介入、etc)
1	日産玉川病院	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士・薬剤師 (4職種)	同じ外来受診日に4職種が療養指導。 これを1セットとして、合計4セット実施。	職種毎にプログラムあり。	医師約15分、それ以外は1職種につき約30分	あり*	あり
2	日本大学医学部附属板橋病院	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種が療養指導。これを1セットとし、2～4セット実施。(最低2セット)	初回は看護師と管理栄養士は別々。2回目以降は初回の状況次第で合同で行う。	1職種15～30分(初回30～60分)。2回目以降は計30分。	あり*	あり；看護師と管理栄養士は腎臓病療養指導士
3	奈良県総合医療センター	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種が療養指導。これを1セットとし、1セット実施。カンファレンスで不足があれば、2セット目を追加	看護師と管理栄養士は別々。	DVD	あり(DVD)*	あり；管理栄養士は腎臓病療養指導士
4	明石医療センター	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種がCKD導は複数回実施することも多い(患者や主治医の意向によって決定)	看護師へ、主治医からの指導依頼内容を事前に伝達している。	医師は10～15分、看護師・管理栄養士は原則的に30分であるが変動あり。	あり*	あり；管理栄養士のうち1名は腎臓病療養指導士
5	田附興風会医学研究所北野病院	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種がCKD療養指導。これを1セットとし、1～2セット実施。糖尿病透析予防指導では4回シリーズ。	看護師による生活指導と管理栄養士による栄養指導	医師は10分、それ以外は1職種につき30-60分	あり*	あり；看護師と管理栄養士は腎臓病療養指導士
6	聖マリアンナ医科大学	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種がCKD療養指導。管理栄養士による栄養指導と看護師による生活指導(腎看護相談)は別日に実施。	患者のステージに応じた支援	医師は10-15分、それ以外は1職種につき30分	あり* (資材は教育入院用。栄養指導資材は同じものを外来でも使用)	あり；看護師と管理栄養士はほとんどが腎臓病療養指導士
7	聖マリアンナ医科大学西都病院	外来で多職種指導は実施できていない。医師より依頼がある時に栄養士が栄養相談実施。					
		尚、当院には腎臓病療養指導士取得の栄養士はいない。					
8	奈良県総合医療センター	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種がCKD療養指導。これを1セットとし、1セット実施。カンファレンスで不足があれば、2セット目を追加	看護師と管理栄養士は別々。	①管理栄養士 (30分)	あり(DVD・紙)	あり；管理栄養士は腎臓病療養指導士
					②看護師：DVD視聴(20分)、指導(30分)		
					③医師診察 10分		
9	近江八幡市立総合医療センター	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	蓄尿検査結果に基づき栄養指導間隔は変動、看護師指導は教育入院後3・6・12・24ヵ月で実施	減塩不良症例(自宅蓄尿)に管理栄養士による継続的な栄養指導、看護師による療養行動における患者行動変容の確認(患者アンケート実施)とその結果に基づく指導	1回15-30分程度	なし	あり；看護師と管理栄養士は腎臓病療養指導士
10	三思会東邦病院	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種がCKD療養指導。	看護師と管理栄養士が別々に指導。看護師は腎代替療法について説明、栄養士はCKDに対する食事指導	1職種15～30分	冊子「腎不全治療選択とその実際」、DVD「守りたい あなたらしき～透析とともに～」NPO法人腎臓サポート協会などを使用	あり
11	京都大学医学部附属病院	専門知識のある医師・管理栄養士 (2職種)	外来受診日に栄養指導を受けて頂く。回数は設定していない。	外来日に合わせて栄養指導をセットし、継続的に指導する。	1職種15分。	なし	あり
12	順天堂大学医学部附属練馬病院	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に3職種がCKD療養指導。これを1セットとし、2～4セット実施。(最低2セット)	初回は看護師と管理栄養士は別々。2回目以降は初回の状況次第で合同で行う。	1職種15～30分(初回30～60分)。2回目以降は計30分。	あり*	あり；看護師と管理栄養士は腎臓病療養指導士
13	長崎大学病院腎臓内科	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士 (3職種)	外来受診日に医師・看護師でCKD療養指導、必要時管理栄養士を交える(1-2回)。	CKDや透析内容の説明、食事内容の確認。問題があれば栄養士の介入。希望時透析の見学・デモ。	合計30～60分程度	なし	あり
14	大阪公立大学医学部附属病院	糖尿病の透析予防外来として実施(依頼あればCKDも対応)	毎週月曜日に3職種で指導。3ヶ月に1回の頻度で4回を1クール(1年)で一通りの内容を説明。希望があれば繰り返す。	添付する資料をもとに、担当の看護師、管理栄養士から指導	1職種15～30分。	あり*	あり；(糖尿病・腎臓) 専門医・専任看護師・管理栄養士
15	藤枝市立総合病院	専門知識のある医師・透析室看護師・管理栄養士 (3職種)	外来日に3職種が療養指導。透析室看護師が家人同伴で初回、eGFR30未満、eGFR15未満の最低3回は行い、以降は患者の病態、理解度、家庭環境などに応じて適宜追加。	栄養指導：管理栄養士が腎臓内科外来受診の待ち時間に実施。	医師の指導は外来診療時間	あり*	あり；看護師と管理栄養士は腎臓病療養指導士を含む
				CKD指導：透析室看護師が、3分冊のCKD指導テキストに基づき指導	栄養指導は20～30分	3分冊のCKD指導テキスト	
					CKD指導は30～60分		
16	医療法人埼玉会 草加病院	専門知識のある医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・公認心理師・社会福祉士 (6職種)	主にCKDステージG4から介入。外来受診毎に職種(医師・看護師・管理栄養士)がCKD療養指導。必要に応じて他の職種も介入・指導	初回は看護師が介入し患者背景を把握する。その状況に応じて初回当日もしくは次の受診時に管理栄養士・薬剤師が介入	医師は10～20分。看護師初回30～60分。他職種含め2回目以降は各20～30分程度	あり	あり；看護師、管理栄養士は腎臓病療養指導士、薬剤師は日本腎臓病薬物療法認定薬剤師